



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

谷戸がわくわくしてきました



オリエンテーション (谷戸歩き)

次々に花が咲き誇り、若葉が萌え広がり、徐々に大勢の人々が谷戸に満ちてきました。農作業もだいぶ熟知してきたので、田んぼも畑も新しい農法を模索し始めています。

お知らせ

総会 5/28(土)13時～

鎌倉中央公園 管理棟2階 研修室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
会員の皆さまには、委任状または議決権行使書
にてご協力をお願いします。



**ホタルの紙芝居を読んでもらえる
ボランティアの方募集!**



谷戸はみなさんの里山保全活動のおかげで、ホタルが生息しています。ホタルを觀賞するためのマナーや、ホタルの生態を知っていただくために、手作りの紙芝居を上演しています。お友だちやご家族の方を誘って、紙芝居ボランティアに参加してみませんか。

お申し込み&お問い合わせは事務局まで
電話 or Fax or メールにて

子どもがのんびりオタマジャクシと触れ合えればと思って活動してきましたが、道のりは遠いです。公園の中で里山の生きものを守ることは、昔ながらの方法だけでは難しいということ、カエルの保護で感じています。昔ながらの田んぼや雑木林に暮らすアカガエル類やシュレーゲルアオガエルは絶滅しやすく、アマガエルとヒキガエルは環境変化に強いと言われてきました。それが近年、ほとんどのカエルが減少し始めています。これは谷戸の環境変化というより、天敵の影響と考えます。

アカガエル類の減少 10年? くらい前までは、連休に「田うない」をしていると足元にアカガエルのオタマジャクシがうごめいていたものですが、今はほとんど見られません。4月中にカルガモに食べられてしまうようです。数年前まで卵塊が盗まれる被害がありましたが、ここ数年はカルガモによる食害が明らかにになってきました。

オタマジャクシがカルガモに食べられている 本来、カルガモは4月に田んぼに現れて田植えのころになるといなくなる習性がありましたが、近年は生態が変化したらしく、夏まで居座って、オタマジャクシなど田んぼの生きものを食べつくしているようです。カルガモは泳ぎながらクチバシをパクパクと動かして口に入るものは何でも食べてしまうので、植物だけでなくあらゆる生きものを食べてしまいます。シオカラトンボも最近減少してきましたが、カルガモに幼虫を食べられているのでしょうか。昨年の観察では、同じペアがずっと居続けていることが判明しました。昔と違い、一日中、田んぼでエサを漁っているので影響が大きいのです。



アカガエル

保護対策 カルガモが田んぼに入れないようにするために、一部の田んぼを金網やネットでおおうことを昨年から本格的に始めました。景観にはよくないし、畔が傷むのですが、会や田んぼ班の方のご理解で実現できました。田んぼの中でも水が安定している区画に、干上がりやすい区画の卵塊を移動し集中させています。昨年、そして今年も、全体の半分近くの卵塊を保護しています。昨年の場合、保護した区画のみにオタマジャクシが多く残っていたので、一定の成果が出たと思います。来年以降、卵塊の数が増えてくるのではと期待しています。

谷戸の自然の様子 冬の寒さが厳しかったためか、アカガエルの産卵がかつてないほど遅くなりましたが、卵塊の数は昨年とほぼ同じ、約200個でした。キブシやスミレなど早春の花が咲くのも半月近く遅れましたが、3月半ばから突然気温が上昇し、3月末にヤマザクラが満開となり、早春と春の花が同時に咲いた感じです。4月10日にクビキリギス（夜、ジーツと鳴くキリギリスの一種）が鳴き始め、アゲハチョウなど春のチョウを見かけるようになりました。全国的に寒暖の差が激しく、冬から夏へと突然季節が変わっていく傾向があるようです。

谷戸往来

紙芝居「かっちゃんのお手伝い編」の絵が展示されました

「玉縄歴史館」の古い農機具展示場に、当会の紙芝居が数枚掲げられました。どのように使ったのかが一目瞭然でわかります。昔の暮らしが目に見え、役に立ててうれしいです。



稲の多年草化全国集会の講演会に参加

4/8、9に開催された「稲の多年草化栽培全国集会」に田んぼ班から3名が参加しました。多年草化とは、前年刈り取った稲株から芽を出し、収穫まで育てる栽培方法です。栽培の手間が大幅に軽減できることがメリットです。講演を聴くまでは半信半疑でしたが、1年中、山の絞り水が湧いている山崎の谷戸の田んぼでは、実現可能ではないかという感触を得ています。

体験学習予定


深沢小5年 富士塚小5年 5/9 Largo 5/23
教育支援教室ひだまり 5/30、7/4

各班のお知らせ


田んぼ班

6月の田植えに向けて、田うない、くろつけ、しろかきと準備は急ピッチです。3月末には、ため池のかいぼりと水漏れの補修を、2年ぶりに実施しました。みなさん泥だらけになって(童心に帰って?)頑張りました。



 3/27 かいぼり



 3/20 雑木林の間伐

雑木林管理班

今期予定した、木の間伐、枝打ち、薪作り、竹林整備と、全ての作業が完了しました。しばらくは田んぼ班に合流します。田植えが終わってから、土手の手入れで活動を再開する予定です。

畑班

収穫量の減少が著しい田の脇のさといも。輪作年限(3~4年)のほかに土壌の乾燥化も考えられることから、今年は思い切って田の上上段へ。代わってじゃがいもとさつまいもを田の脇で栽培する。


農芸班

農芸ごよみは6月の梅干し作りから始まります。剪定と堆肥を入れた梅の木に、可愛い花が咲きました。春の嵐に負けずに、梅の実をたくさんつけてくれますように。今年度も楽しく活動していきます。

自然遊び班

「父と子の里山体験」では、竹コップ、竹踏みや笛も作りました。素敵な音が出て、竹でいろんな楽器が作れたらもっと楽しい!小段谷戸で、ヤマアカガエルの卵やオタマジャクシの観察も。谷戸ならではの。



 3/6 父と子の里山体験

生態系保全班

オタマジャクシ保護のため、田んぼにネットを張りました。去年はネットを外すのが早く被害にあい、そのため今年は田植えの後まで保護する予定です。田んぼ作業と保護をどうしたらいいか検討中です。

植物育成班

ヒメオドリコソウが咲いています。減っていますが油断はできないので除去を続けます。今年の発見は小段谷戸の土手にタチツボスミレが咲いていたことです。少し違う春。そんな気が楽しいです。

5月

- 1日(日) 田 田うない ☆
 3日(祝・火) 講座「谷戸の茶摘み」 ☆
 4日(祝・水) 田 畔草刈り、苗床草取り ❖
 8日(日) 田 くろつけ
 自 里山探検隊「春の谷戸しごと」
 9日(月) 畑 さつまいも畑の畝作り ☆
 14日(土) 田 くろつけ
 15日(日) 田 くろつけ、しろかき ☆
 畑 畑の整備 ❖
 試食の日
 18日(水) 植 貴重な植物の分布調査
 21日(土) 田 しろかき ☆
 22日(日) 田 しろかき
 29日(日) 田 しろかき、紐はり
 30日(月) 畑 さつまいもの苗植え ☆

6月

- 1日(水) 生 水の生物の調査
 農 梅干し作り(梅収穫・下漬け) ❖
 3日(金) 田 苗取り、紐張り
 4日(土) 田 苗取り・田植え
 生 夜の自然パトロール ❖
 5日(日) 田 苗取り・田植え ❖
 6日(月) 畑 落花生の種蒔き ❖
 11日(土) 田 苗取り・田植え・紐張り ☆
 12日(日) 田 苗取り・田植え ❖
 試食の日
 13日(月) 畑 たのくろ豆の種蒔き ☆
 18日(土) 生 夜の自然パトロール ❖
 19日(日) 田 田の草取り、苗床片付け
 雑 土手の手入れ ❖
 自 こども里山一日体験 ▶
 「じゃがいも掘り」
 22日(水) 畑 長ねぎの移植 ☆
 26日(日) 田 田の草取り、補植 ❖
 畑 じゃがいも掘り
 雑 鎌を研いで草刈り ☆
 青空自主保育なかよし会保全活動

7月

- 2日(土) 生 夜の自然パトロール ❖
 3日(日) 田 田の草取り
 雑 土手保全のための草刈り ❖
 4日(月) 畑 にんじんの種蒔き ☆
 9日(土) 生 夜の自然パトロール ❖
 10日(日) 田 田の草取り ☆
 雑 下草刈り ☆
 自 里山探検隊「夏の谷戸しごと」
 13日(水) 畑 さといもの草取り・土寄せ ❖
 17日(日) 田 田の草取り ❖
 雑 土手の草刈り ❖
 20日(水) 農 梅干し作り(赤じそ仕込み) ❖
 24日(日) 田 田の草取り
 雑 雑木林の下草刈り ❖
 講座「湿地復元」 ☆
 31日(日) 田 土手の草刈り、畔の草刈り ❖
 雑 草刈りして水路整備 ☆

今後の情勢によって中止や延期の可能性があります。
 ホームページ、または事務所にご確認ください。

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班
 農：農芸班 自：自然遊び班
 生：生態系保全班 植：植物育成班

☆ 谷戸塾 ❖ 里山一日体験

各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合
 (農芸班、自然遊び班は、10時)

▶ 会員以外の方 参加費500円/組
 夜の自然パトロール：18:30 山崎口しいし前集合
 20:30 頃まで

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時～16時

ホームページ : <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

- 次号(会報 110号)は、2022年7月に発行予定
- 会費 郵便振替口座番号 00270-6-115647

